

令和6年所信

新年元旦から能登半島地震が発生し、甚大な被害が出ています。

被災された皆様にお見舞い申し上げ、犠牲となった皆様に心から哀悼の誠を捧げます。

同じく大地震のリスクを抱える別府市として、他人事ではなく自分事として最大限の支援に取り組んでまいります。

去年は4月に市長選挙、市議会議員選挙が行われ、私も多くの市民の皆様の負託をいただき、3期目の市政運営を担うこととなりました。

「こどもまんなか社会の実現」、「温泉マネジメントシステムの構築」、「新湯治・ウェルネスの推進」の取組など、未来に向けた施策を重点施策と位置付け、取り組んでまいりました。

輝かしい別府の未来に向け、市民の皆様が心の底から幸せを実感できる別府市づくりに邁進することを改めて決意した次第です。

特に新湯治・ウェルネスにつきましては、今後も世界規模で成長していく産業であり、別府市全体で取り組むべき施策です。新湯治・ウェルネスと言えば別府というブランドを確立することが、子や孫の世代にわたって心豊かに過ごしていける事に繋がります。引き続き、丁寧な説明に努め、事業を進めて参ります。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、地域行事やイベントが通常どおり開催されるなど、長いトンネルから抜け、かつての賑わいが戻ってきました。

観光客の皆様もほぼ通常通り戻ってきていただいております。

また、今後の見通しが非常に明るいニュースもありました。

世界最大級の旅行予約サイト『booking.com』による2024年人気旅行先ランキングで、名だたる世界の観光地を押さえ別府が堂々の世界1位に輝きました。官民挙げてラグビーワールドカップ キャンプ誘致などを実現させた実績が、コロナという苦境を乗り越え、再び今世界から注目を集めているのだと感じています。これまでの歩みは間違っていなかった何よりの証明です。

しかしその一瞬に満足し、さらなる進化への努力を怠れば、その栄冠はたちまち奪い取られてしまいます。

コロナ禍から準備をしてきた高付加価値化への取り組みを今こそ加速し、想像以上の別府を実感していただけるよう、切磋琢磨してまいります。

一方で、全産業における人手不足や物価高騰という課題があります。これらの課題には引き続き、各業界団体の皆様と連携し、解決に向け取り組みます。

また、冒頭申し上げた観光地の課題解決のチャレンジとして「たびスタ」休暇の取り組みも始めました。これは平日に家族旅行をする場合、年度内に3日を限度に学校を欠席扱いせずに休みを取得できる制度で、今後全国的にも導入する自治体が増えてくると考えられます。

旅は人生を豊かにするものであり、新しい価値を創造するものです。

子ども達にとっても貴重な学習の機会だと考えています。

その他にも、「別府モデル」として、温泉の効果を取り入れた認知症対策の構築や複雑化・複合化した支援ニーズを一元的に対応する福祉総合支援窓口の設置、重層的支援体制整備事業など福祉活動にも注力しています。

また、別府市の悲願であった新図書館も幾多の困難を乗り越え、工事に着工となりました。

全ての皆様の課題解決ができる、心によりそう「よりどころ」として、確実に整備を進めてまいります。

今年市制施行100周年という歴史的な節目の年となります。

『コロナからの完全脱却元年』『歴史的な飛躍元年』と位置付けるこの年に別府市が100周年を迎えることは決して偶然ではないと思います。

「100年分のありがとうが明日への源泉」をキャッチフレーズに、昨年から様々なプレ事業を実施してきましたが、いよいよ4月7日の記念式典を皮切りに、温泉まつりや多くのイベントがスタートします。

別府の未来のために、100周年は華やかに、そして確実に未来へのタネを撒く

ことができるよう、さまざまな仕掛けを実施していきます。

先人の偉業に感謝し、輝く未来を約束するため、私たちが今ここに立つ意義を深く噛み締め、市民総参加で歴史的な1年にしたいと思います。

重要課題の解決や施策の実現には、皆様との協働・連携が不可欠です。

「全ての施策の目的は市民の幸せのため」ということを共有しながら、今後も持続可能で夢や希望を持てる素敵な別府を後世にひきつげるよう、市民の皆様に寄り添った取組を加速させてまいります。